



憲法9条にノーベル平和賞を！

◆セミナー開催◆

日時

2023年5月6日(土)午後1時半～3時半

(質疑応答約30分)

場所

兵庫県民会館7階 青少年交流プラザセミナー室

*1階で「青少年プラザ」とお尋ねください。

講師

北村 敏泰

ジャーナリスト、元・全国紙編集局部長
元・宗教文化専門紙編集局部長、同編集委員兼論説委員

テーマ

9条を守る姿勢といのちへの向き合い

小さな神々と大きな物語の視点——東日本大震災現況報告も交えて



●講師プロフィール 北村敏泰（きたむら・としひろ）

1975年京都大学法学部卒業、全国紙大阪本社入社。神戸、京都総局や社会部、本社デスク、京都総局長などを経て編集局部長に。現代社会における宗教、「いのち・心」、エンディング問題などを中心的テーマに取材活動をし、「こころのページ」デスクも担当。同テーマで、京都の大学などで連続講義も担当した。

2011年に定年退職後、宗教専門紙『中外日報』から請われて特別編集委員に就任。以後、編集局長や常務取締役編集担当として紙面の大改革を実施、自身も東日本大震災や貧困、自死、生命倫理など社会問題と宗教に関する長期連載を執筆。20年6月に契約満了でフリーランスに。

東日本大震災の被災地取材は23年3月で計30回に及び、各方面で講演も。著書に『苦縁 東日本大震災 寄り添う宗教者たち』（徳間書店）、『揺らぐいのち——生老病死の現場に寄り添う聖たち』（晃洋書房）など。

申し込み不要

資料代 500円

◆お問合せ

憲法9条をノーベル平和賞に推す神戸の会(略称 推す会)

〒655-0049 神戸市垂水区狩口台5-1-101

Tel : (078) 782-9697 Fax: (078) 784-2939

総主事 岩村義雄

E-mail : QYH05423@nifty.com

◆9条を守る姿勢といのちへの向き合い◆

小さな神々と大きな物語の視点— 東日本大震災現況報告も交えて

●講演者からの言葉

平和を守るとは、個々のいのちに向き合うことから始まります。そこでは、苦難にある人に寄り添う小さな神々としての姿勢と、そのような苦難を生み出す社会の変革を目指す大きな物語の視点とが重要です。

ではなぜ、東日本大震災に着目するのか。それは、原発事故も含めそこには、この日本社会全体の矛盾が象徴的に集積しているからです。震災の被災地にある問題、形ばかりの“復興”の裏での、打ちひしがれた被災者への「自己責任」の押し付けや、政府の冷たい仕打ちや社会的抑圧・差別は、実は「日常という災害」の被災地であるこの国全体に広がっています。

社会の「最も弱い環」「最も小さくされた人々」のありさまに眼差しを向けることで、「最も低くされた場所」に立つことで、社会全体の問題が見えて来る、ということです。

兵庫県民会館

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3



交通アクセス

- ・神戸市営地下鉄 山手線「県庁前」駅下車、東出口2を出て正面の白い建物が県民会館です（徒歩約50m）
- ・JR神戸線「元町駅」または阪神本線「元町」駅で下車、西改札口を出て北（右）へ進み、階段を上って信号を渡り生田中学校に沿ってすすむと白い建物（県民会館）が見えてきます（徒歩約1km）

※阪急でお越しの方は、三宮で神戸市営地下鉄に乗り換え
※新幹線でお越しの方は、新神戸で神戸市営地下鉄に乗り換え

お車をご利用の場合

大阪方面・明石方面ともに阪神高速3号神戸線「京橋」ランプより、フラワーロードを北進、加納町3丁目の交差点を左折して西へ5分